



6/8
(木)

新嘗祭の祈願式 献穀のための種まき

6月8日、稲の収穫感謝祭「新嘗祭」へ献穀するための祈願式と種まきが、鹿児島いずみ農業協同組合の上宗光代表理事組合長のほ場で行われました。

南九州地区では、鹿児島と熊本、宮崎の3県が順番で行っており、今回は、県の代表として上組合長が町内でアワを栽培し、献穀します。

上組合長は「皆様のご協力をいただきながら献穀できるように栽培していきたい」とあいさつしました。

ほ場で記念撮影（写真中央・上組合長夫妻）



※新嘗祭…毎年11月23日に「勤労感謝の日」に行う宮中行事。天皇が新穀を天地の上へ供え、自らも食する祭事

6/10
(土)

おやどり読書会 デジタル絵本で読み聞かせ

6月10日、鷹巣小学校(田島正英校長・198人)でボランティアサークル「おやどり読書会(下平忍代表)」が読み聞かせを行いました。

同会の山内達也さん(西)が初の試みとして「デジタル絵本」を作製し、読み聞かせを行いました。絵本は、町の郷土史に記載されている民話「巨人どんの技比べ」が題材となっています。

山内さんは「長島には町民にもあまり知られていない民話がたくさんあり、もったいないと思っていた。デジタル絵本にすることで皆に知ってほしくて作製した。今作品のオチは狙い通り。子ども

デジタル絵本に集中する児童ら



たちが笑ってくれてよかった」と話しました。

同会では、一緒に読み聞かせをする仲間を広く募集しています。

6/10
(土)

平尾小学校同和教育 思春期の子どもとの関わり方

6月10日、平尾小学校(平峯剛校長・80人)で学校保健委員会活動の一環として、県人権同和教育課の福雅彰氏を講師に迎え「思春期における子どもとの関わり方～多様な性について考えてみよう～」を開催しました。

参加した保護者らは、多角的な視点での思春期の子どもとの関わり方について理解を深めていました。

PTA 保体部長の鶴長孝司さん(藤之元)は、「相手の立場を尊重し、否定せずに話を聞くこと。大切なことを学び直した」と話しました。

真剣に話を聞く保護者ら

